

～ITエンジニア 約1,100人の就業実態一斉調査～

働き方改革により「長時間労働」が改善したと回答 約4割

月間残業の希望「10時間未満」が最多、派遣社員の3割弱はもっと働きたい

ディップ株式会社（以下「当社」）のディップ総合研究所は、47都道府県内在住の18～69歳の男女のIT・エンジニア就業者1,108人を対象に、ITエンジニアの就業実態について調査しましたのでご報告いたします。


■調査結果

1. 働き方改革により「長時間労働」が改善 約4割
2. 月間の残業時間は実態・希望共に「10時間未満」がトップ、派遣社員は3割弱がもっと働きたいと回答
3. ITエンジニアの約8割は現在の仕事に不満。そのうち3割は、「評価・昇給制度」「業務量に対する給与」に不満


dip 働く人のリアルがわかる
ディップ総合研究所

ITエンジニア
1100人就業実態調査

働き方改革により 「長時間労働」 が改善



4割弱

 **残業10時間未満約4割、
派遣社員は3割弱がもっと働きたい**

「ITエンジニアの就業実態調査」：<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=475>

■ 調査結果からわかる IT エンジニアの就業実態

IT エンジニア（約 1,100 名）を対象とした今回の就業実態調査では、全体の約 4 割が働き方改革による長時間労働の改善を実感していることが明らかになりました。その表れとして、残業時間に関する質問では、全産業平均の所定外労働時間 10.5 時間に近い、またはそれよりも低い水準である「10 時間未満」と回答した人は 4 割と最多です。一方、「20 時間以上」の回答は 4 割強、「45 時間以上」の回答も 1 割弱となりました。希望する残業時間と実態のギャップを雇用形態別に見ると、正社員は「現在よりも少ない残業時間を希望」が半数であるのに対し、派遣社員は 3 割弱が「現在よりも多い残業時間を希望」と回答しており、回答者の雇用形態や給与形態によって残業に対する意識の違いが生じています。

次に、IT エンジニアとして就業するうえで、全体の約 8 割が何かしらの不満を抱えていることが分かりました。詳しく見てみると、「適正な評価・昇給制度がないこと」（32.3%）、「仕事内容・業務量に応じた十分な給与ではないこと」（31.8%）の回答数が多く、給与に関する項目が上位となりました。また、目まぐるしく進化し、日々スキルアップが要求される職種であることから、「常に新しい技術を学ぶ必要があり大変なこと」（13.5%）などの不満も散見されました。

本調査から働き方改革の推進による改善は見えるものの、不満を持つ IT エンジニアの離職防止や、定着に向けた取り組みが求められています。今後 IT エンジニアを雇用する企業は、働き手が感じている不満を認識し、多くのコミュニケーションを図ると共に、就業意向を高める働きかけや、環境づくりに力を入れていくことが改善に繋がるのではないのでしょうか。

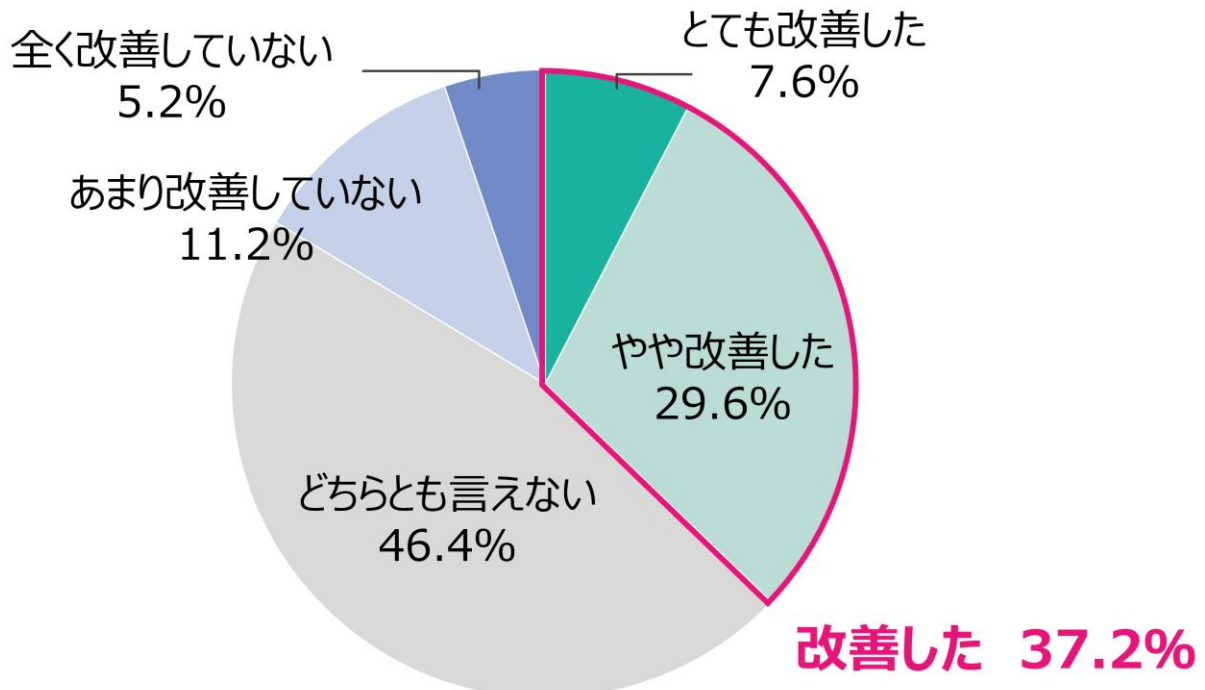
■ 調査結果概要

1. 働き方改革により「長時間労働」が改善 約 4 割

働き方改革による「長時間労働の是正」

Q. 現在就業している仕事において、各項目に対する働き方改革の改善状況としてあてはまるものを1つ選択してください。 n=1,108

■ 長時間労働の是正についての回答



2. 月間の残業時間は実態・希望共に「10 時間未満」がトップ、派遣社員は 3 割弱がもっと働きたいと回答

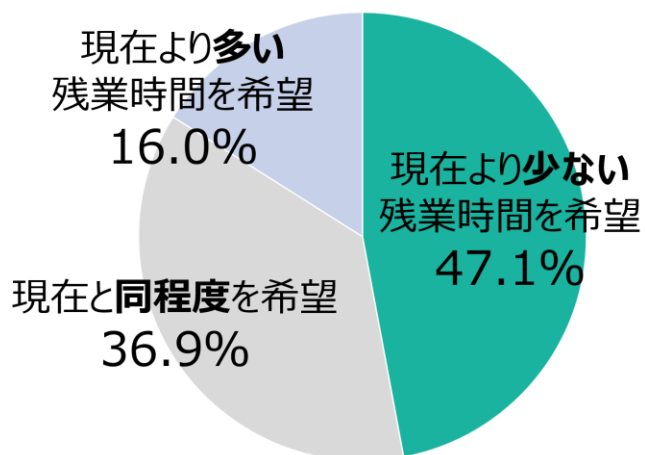
ITエンジニアの残業時間

Q. 現在就業している仕事における、月間の残業時間についてお伺いします。「現在の残業時間」「本来希望する残業時間」として、あてはまるものをそれぞれ1つ選択してください。※月によって変動する場合は、平均時間をお答えください。 n=1,108

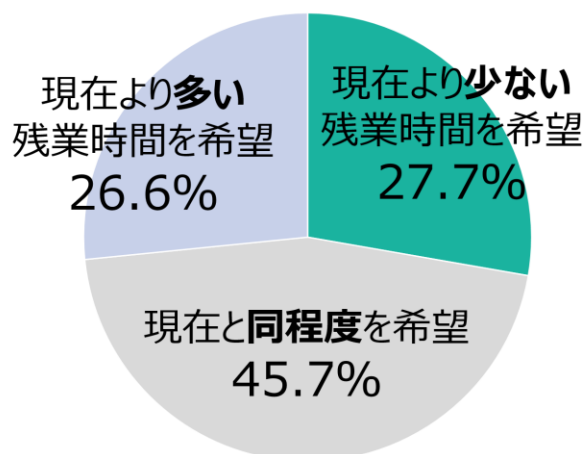
希望の残業時間とのギャップ



正社員



派遣社員



現在の残業時間 (月間)

	10時間未満	10～20時間未満	20～30時間未満	30～45時間未満	45時間以上	20時間以上
ITエンジニア全体	39.4	19.1	17.2	14.5	9.7	41.4%
正社員	35.9	19.8	18.9	15.0	10.4	44.3%
派遣社員	58.4	16.2	8.0	12.2	5.2	25.4%

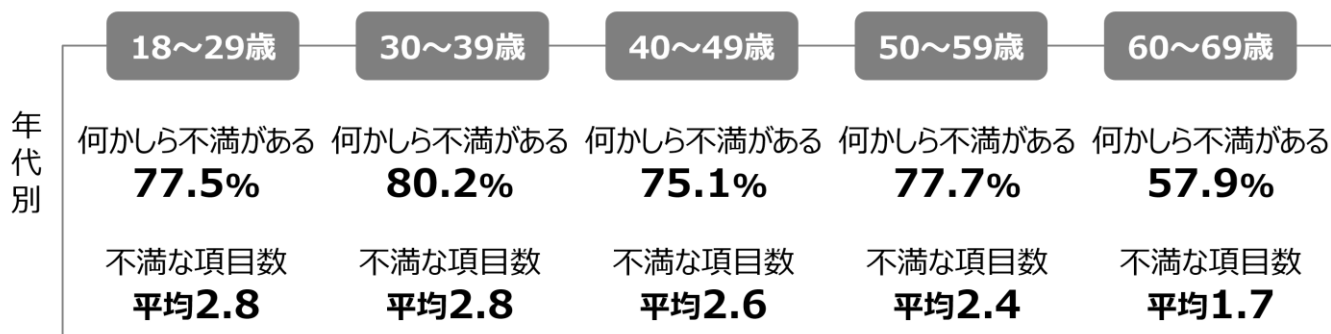
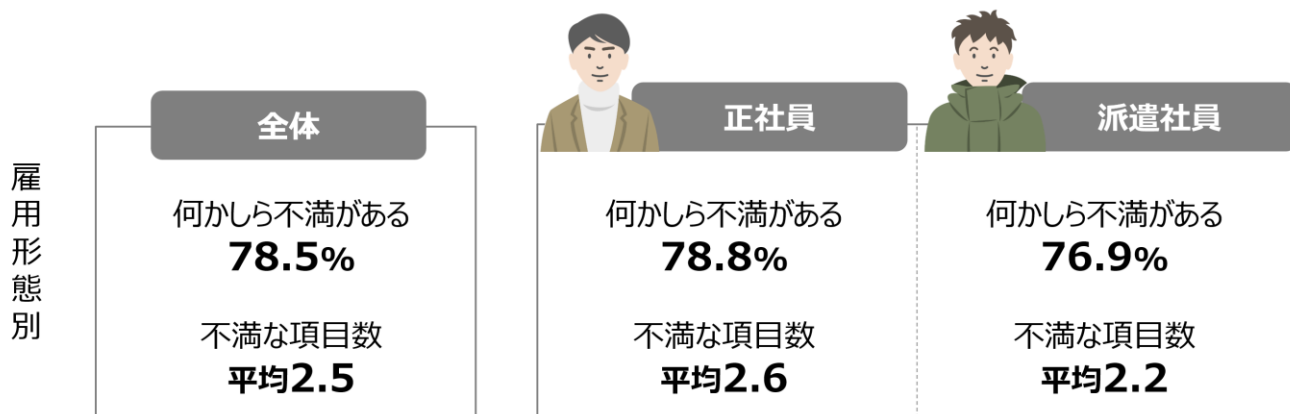
本来希望する残業時間 (月間)

	10時間未満	10～20時間未満	20～30時間未満	30～45時間未満	45時間以上	20時間以上
ITエンジニア全体	46.1	23.7	17.4	11.0	1.8	30.2%
正社員	45.3	23.7	18.7	10.6	1.7	31.0%
派遣社員	50.9	24.2	9.8	13.3	1.8	24.9%

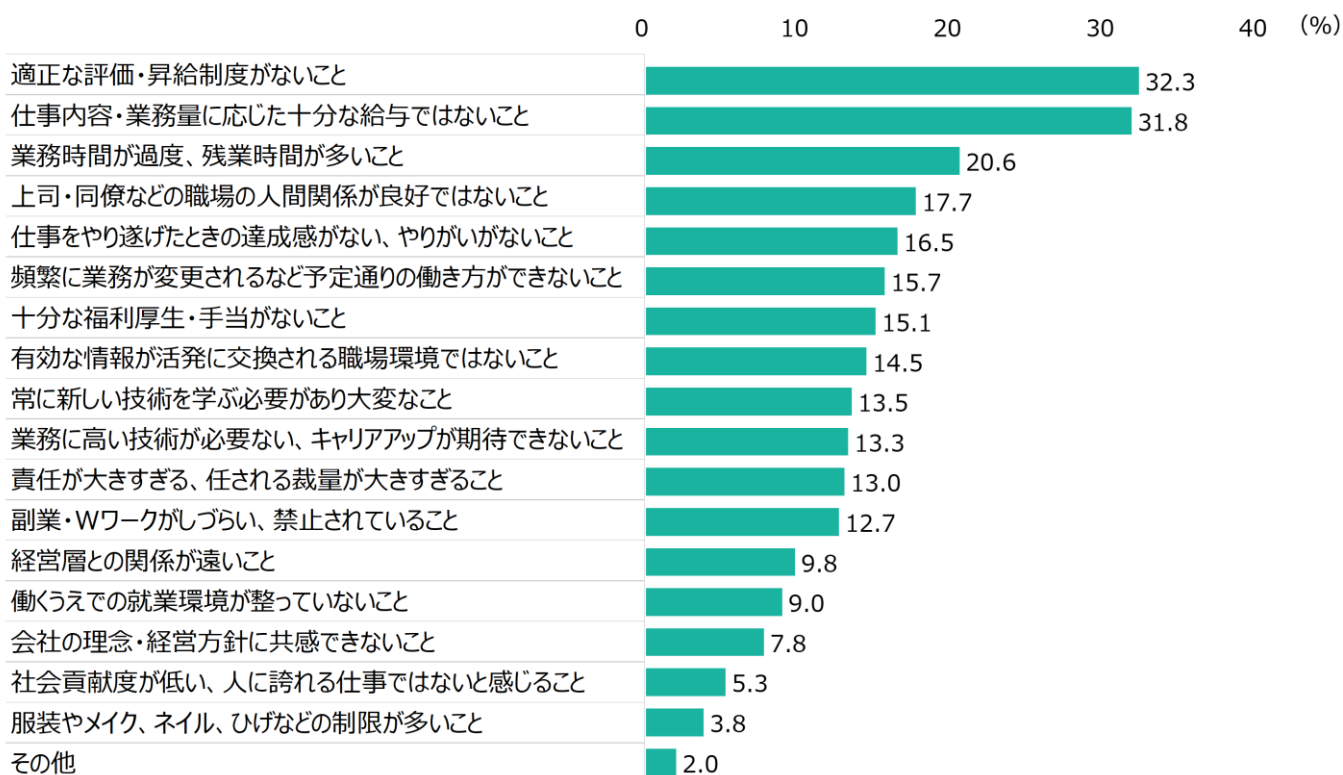
3. ITエンジニアの7割は現在の仕事に不満。そのうち3割は、「評価・昇給制度」「業務量に対する給与」に不満

不満な点と、解消されることで就業意向が上がる項目

Q. エンジニアとして就業しているなかで「不満に感じていること」として、あてはまるものを全て選択してください。(複数回答) n=1,108



不満に感じている項目



その他、調査の詳細は下記 URL にて公開しています。

「ITエンジニアの就業実態調査」：<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=475>

■調査概要

調査設計・分析：ディップ総合研究所 ディップレポート編集課 川上由加里

調査名：ディップ総合研究所「ITエンジニアの就業実態調査」

調査手法：インターネット調査（インテージモニター利用）

調査期間：2020年11月5日（木）～2020年11月11日（水）

調査対象者：47都道府県内在住の18～69歳の男女のIT・エンジニア就業者

有効回収数：1,108サンプル（正社員：935サンプル、派遣社員：173サンプル）

※当調査結果を引用・転載される際は、下記表記をお願いいたします。

出典：「ITエンジニアの就業実態調査」(<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=475>)

※インターネットメディアへご掲載いただく場合は、ディップ総合研究所TOPページ(<https://www.baitoru.com/dipsouken/>)または、アンケート調査結果ページ (<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=475>) のURLを記載ください。

ディップ総合研究所 概要

ディップ総合研究所は、アルバイト・パート・派遣社員・正社員など働く人すべての気持ちや本音・許容や理想を、調査を通して明らかにするため、2019年1月17日に開設しました。経営層から人事・採用担当者向けに、“採用活動やその後の育成・定着を成功に導く”実践的なコンテンツを提供することで、「採用された人材が活躍し、働く人と企業がともに輝ける社会」の実現を目指します。

ディップ総合研究所：<https://www.baitoru.com/dipsouken/>

当社概要

「私たち dip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」の企業理念の下、“Labor force solution company”をビジョンに掲げ、『労働力の総合商社』として、人材サービス事業とAI・RPA 事業を提供しています。

社 名：ディップ株式会社

代 表：代表取締役社長 兼 CEO 富田 英揮

本 社：東京都港区六本木 3-2-1 六本木グランドタワー31F

電 話：03-5114-1177（代表）

設 立：1997年3月

資本金：1,085百万円（2020年5月末現在）

従業員数：2,234人（2020年4月1日現在の正社員）※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容：求人情報サイト「バイトル」「バイトルNEXT」「はたらこねっと」などの運営、看護師転職支援サービス、RPA サービス「ロボット」の開発・提供、他

上場証券取引所：東京証券取引所（市場第1部）

売上高：464億円（2020年2月期）

URL：<https://www.dip-net.co.jp/>

<報道に関するお問い合わせはこちら>

ディップ株式会社 広報担当

TEL：03-6628-4070 e-mail：info@dip-net.co.jp